

NEWS 1

子供たちに大人気—銅の学校 エコプロダクツ2011に出展

(社)日本銅センターでは昨年12月15日～17日に東京・有明のビックサイトで開催されたエコプロダクツ2011に出展した。

「銅の学校」と名付けたブースは、学校の教室に見立てた展示内容で、銅の特性を学べるもの。ブースでは銅食器や湯たんぽ、水道用水栓など、暮らしの中で使用される銅製品を展示。殺菌作用や熱伝導性の高さ、耐久性など、銅の特性を学校風の黒板や模造紙でわかりやすく説明した。

また、東京芸術大学鍛金教室の協力を得て、銅の作品を展示し、加工性の良さを学ぶ材料とした。

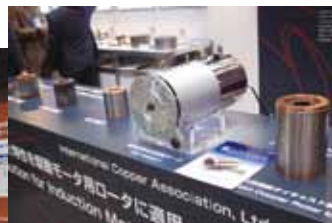
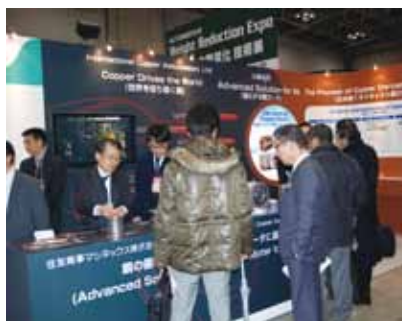


NEWS 2

銅ダイキャスト技術をPR —第3回EV・HEV駆動システム技術展

(社)日本銅センターでは、去る1月18日～20日に東京・有明のビックサイトで開催されたEV展に出展した。この展示は国際銅協会(ICA)協賛のもと、銅合金鋳物などを製造する明石合銅と共同で出展したもので、銅ダイキャスト技術を用いたモーターの高効率化技術を紹介した。

銅は導電率や熱伝導率が高いことが特長。誘動モーターのローター部分で銅を用いれば、効率を約2%高められる。ブースにはモーターメーカーの担当者らが数多くつめかけ、新技術に熱い視線を送っていた。



NEWS 3

子供を守る安全・安心プロジェクト進む —去年の、東京「めじろ保育園」に続き本年度は福島で実施

2010年から(社)日本銅センターでは、銅に対する正しい理解を促進するため、銅製品を活用した安全・安心プロジェクトを実施している。安心・安全の問題を解決する一手段として銅製品を手洗い場やドアノブ等に導入し、銅の持つ高い殺菌効果の活用を推進している。昨年度の東京「めじろ保育園」と「第二小羊チャイルドセンター」に続き、本年度は福島県いわき市の小島保育園・金谷幼稚園で銅製品を導入した。



小島保育園



金谷幼稚園

編集後記

東日本震災から一年がたちました。被災された方々、福島の事故によって不便な生活を余儀なくされておられる方々に心からお見舞いを申し上げます。この号から編集デスクを引き継ぎました。新人ですので、何分不慣れな点が多いのですがよろしくお願ひ申し上げます。今回の取材で地方を回っていると、我々が伝承しないと途切れてしまう技術があちこちに残っていることを痛感し

ました。引き続き、産業分野から生活密着分野、伝統工芸分野にわたる広い範囲でピックを立ててご紹介していきます。本号のリー随想は暗くなりちな世相を少しでも明るくという思いもあり、若手のミュージシャンをお願いしました。是非お読みください。

編集デスク 竹中 俊一 (日本銅センター)

情報発信委員会

〈委員長〉堀田修司((株)神戸製鋼所)
〈委員〉鉾山/塚本弘之(三菱マテリアル(株))、鏡原俊一(パンパシフィック・カッパー(株))、永田禎彦(日本鋳業協会)仲銅/轟正博(古河電気工業(株))谷敬三((一般社)日本伸銅協会)電線/湯谷彰((株)フジクラ)、後藤信之((社)日本電線工業会)((社)日本銅センター)和田正彦、幸洋二